

学校名	防府市立富海小学校
テーマ	思いや考えを伝え合い、わかり合える子どもの育成
対象者（学年）	全学年
実施場所	本校
<p>内容（具体的な取組）</p> <p>1 ねらいと展開</p> <p>(1) ねらい ○ 話す力・聞く力をつけ、一人ひとりの思いや考えを伝え合う学習活動に取り組むことにより、相手の考えを理解し、自分の考えを深めることができるようにする。 ○ 温かい人間関係づくりを通して、コミュニケーション能力育成の基盤となる他者の思いをくみ取り、わかり合うことができる豊かな心を養う。</p> <p>(2) 展 開 「思いや考えを伝え合い、わかり合える子どもの育成」をめざし、本校では「伝え合う力を育てる授業づくり」「伝え合う力を育てる活動」「温かい人間関係づくり」の3本柱を立て、伝え合う力を育てる授業づくりについては授業研究部、伝え合う力を育てる活動や温かい人間関係づくりについては環境研究部が中心となって企画、運営し、全教職員共通理解を図りながら研修を進めた。</p> <p>2 実践の工夫</p> <p>(1) 伝え合う力を育てる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「話す・聞く」ための学習ルールの定着（話し方名人・聞き方名人の教室掲示） ・ 授業における伝え合う場の設定（単元構成・学習形態の工夫） ・ 授業改善のための授業評価の充実 <p>(2) 伝え合う力を育てる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の会におけるフリートークの継続的な実施 ・ 全校朝会におけるお誕生日スピーチの実施（月1回） <p>(3) 温かい人間関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や学活におけるAFPYの導入 ・ 日常生活における言語環境の整備（気持ちのよいあいさつ・言葉がけ 等） <p>3 成果及び課題</p> <p>(1) 成果</p> <p>〈伝え合う力を育てる授業づくり〉</p> <p>（生活科） ・ 児童の意識の流れにそった単元構成、繰り返し関わりのもてる教材の選択を行うことで、自分の思いや考えをしっかりとつことができ、自分の言葉で表現する力を伸ばすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異学年の交流を取り入れたことにより、1年生は2年生の姿から学び、2年生は自覚を深め、表現力を高めることにつながった。 <p>（道徳） ・ 気づきを大切にした授業構成、体験活動と関わり合う単元構成を工夫することにより、資料や体験からうまれた自分の思いや考えを積極的に表現しようとする児童が増えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの話す回数が増え、内容にも深まりが見られるようになり、価値を高めていくことができるようになった。 <p>〈伝え合う力を育てる活動〉</p> <p>（フリートーク） ・ 人前で話すことに対する苦手意識が減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話題にも広がりが見られるようになった。 ・ みんなで話し合う楽しさを感じることでできる児童が増えてきた。 <p>（お誕生日スピーチ） ・ 全校児童に聞こえる大きな声で発表できるようになってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ内容に広がりや深まりが見られるようになり、個性ある発表が聞かれるようになった。 <p>〈温かい人間関係づくり〉</p> <p>（AFPY） ・ みんなと活動することの心地よさ、協力することの大切さを学ぶことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を通して心が開かれることにより、次の活動へもスムーズに移行できた。 <p>(2) 課題</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「フリートーク」「お誕生日スピーチ」は、児童の実態に合うように方法や内容に工夫を加え、より充実した時間にしていくことで、もっと大きな効果が期待できる。 ② 「AFPY」については、児童の実態に照らして実施し、加除修正を図っていく必要がある。また、教師自身も専門的な知識や技能を身につけ、児童の実態に対応できる力をつけていかなければならない。 ③ 「フリートーク」「お誕生日スピーチ」で培った力が、授業のなかでより確かなものになり、高めていけるよう取組を進めていく必要がある。 	